

令和6年度 大学院研究科 入学試験判定基準（7月期）

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	法学	学内推薦	法律学専攻	C評価以上

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	商学	学内推薦	商学専攻	C評価以上

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	経済学	学内推薦	経済学専攻	C評価以上

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期・修士	総合理工学	学内推薦	理学専攻	C評価以上
			物質系工学専攻	
			メカニクス系工学専攻	
			エレクトロニクス系工学専攻	
			環境系工学専攻	
			建築デザイン専攻	
			東大阪モノづくり専攻	

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	薬学	学内推薦	薬科学専攻	各評価者による評価合計点（5段階の5項目）の平均値で15点以上

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
修士	総合文化	学内推薦	日本文学専攻	C評価以上
			英語英米文学専攻	
			文化・社会学専攻	
			心理学専攻	

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	農学	学内推薦	農業生産科学専攻	C評価以上
			水産学専攻	
			応用生命科学専攻	
			環境管理学専攻	
			バイオサイエンス専攻	

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	生物理工学	学内推薦	生物工学専攻	C評価以上
			生体システム工学専攻	

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	システム工学	学内推薦	システム工学専攻	C評価以上

課程	研究科	入試区分	専攻	口頭試問
博士前期	産業理工学	学内推薦	産業理工学専攻	C評価以上

課程	研究科	入試区分	小論文	口頭試問	合計
修士	実学社会起業イノベーション学位プログラム	一般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

※C評価は、課題発見および課題解決を行うために必要な資質・能力、ならびに主体的に社会に新たな価値を創造しようとする意欲について、一定の水準を満たしていると認められる場合を指す。

令和6年度 大学院研究科 入学試験判定基準（9月期）

課程	研究科	入試区分	A専門科目	B専門科目または外国語	合計	口頭試問
博士前期	法学	学内	60/100	-	60/100	C評価以上
		一般	110/200		110/200	
		社会人	60/100	-	60/100	

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	商学	学内	-	75/100	75/100	C評価以上
		一般	180/300		180/300	
		社会人	75/100	-	75/100	
博士後期	一般	75/100	-	75/100		
	社会人	75/100	-	75/100		

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	小論文	合計	口頭試問
博士前期	経済学	学内	-	60/100 各種検定等のスコアにより評価	-	60/100	C評価以上
		一般	110/200	60/100	-	170/300	
		社会人	-	-	70/100	70/100	

課程	研究科	入試区分	専攻	英語（100点）	専門科目既修得科目平均点 学内（100点） 専攻の基礎科目 一般（100点）	口頭試問
博士前期・修士	総合理工学	学内	理学専攻		110.95/200	C評価以上
			物質系工学専攻		127.02/200	
			メカニクス系工学専攻		129.43/200	
			エレクトロニクス系工学専攻		123.62/200	
			環境系工学専攻		123.38/200	
			建築デザイン専攻		150.61/200	
		一般	理学専攻		112/200	
			物質系工学専攻		167/200	
			メカニクス系工学専攻		141/200	
			エレクトロニクス系工学専攻		137/200	
			環境系工学専攻		163/200	
			建築デザイン専攻		238/300（※1）	
			東大阪モノづくり専攻		162/200（※2）	
博士後期	一般	全専攻		-		
	社会人			-		

※1 建築デザイン専攻は英語（100点）、専門科目Ⅰ（100点）、専門科目Ⅱ（100点）

※2 第1次選考は小論文等の書類選考（100点）、第2次選考は実技試験（100点）

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士	薬学	学内	-	-	-	各評価者による評価合計点 （5段階の5項目）の平均値で15点以上
		一般	-	40/100	40/100	各評価者による評価合計点 （5段階の7項目）の平均値で21点以上
		社会人	-	-	-	
博士前期	薬学	学内	-	40/100	40/100	各評価者による評価合計点 （5段階の5項目）の平均値で15点以上
		一般	配点100 ※外国語と専門科目の総計が50%以上	40/100	100/200 ※外国語と専門科目の総計が50%以上	
		社会人	-	-	-	
博士後期	薬学	学内	-	-	-	各評価者による評価合計点 （5段階の5項目）の平均値で15点以上
		一般	-	40/100	40/100	各評価者による評価合計点 （5段階の7項目）の平均値で21点以上
		社会人	-	-	-	

令和6年度 大学院研究科 入学試験判定基準（9月期）

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
修士	総合文化研究科	学内	70/100	-	70/100	C評価以上
		一般	115/200	55/100	170/300	
		社会人	70/100	-	70/100	

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	農学	学内	-	60/100	60/100	C評価以上
		一般	60/100	60/100	120/200	
		社会人	-	-	-	
博士後期	一般	-	-	-		
	社会人	-	-	-		

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	生物理工学	学内	180/300 ※外国語は50/100以上		180/300	C評価以上
		一般	100/200 ※外国語は50/100以上		100/200	
博士後期	生物理工学	社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定			
		一般	外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して可否を決定 (本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除)			
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定			

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	修得科目平均点	合計	口頭試問
博士前期	システム工学	学内	-	45/100	75/100	120/200	C評価以上
		一般	100/200		-	100/200	
博士後期	システム工学	社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定				
		一般	外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して可否を決定 (本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除)				
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定				

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	産業理工学	学内	-	60/100	60/100	C評価以上
		一般	120/200		120/200	
		社会人	-		-	
博士後期	一般	-	60/100	60/100		
	社会人	-		-		

課程	研究科	入試区分	小論文	口頭試問	合計
修士	実学社会起業 イノベーション 学位プログラム	一般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

※C評価は、課題発見および課題解決を行うために必要な資質・能力、ならびに主体的に社会に新たな価値を創造しようとする意欲について、一定の水準を満たしていると認められる場合を指す。

令和6年度 大学院研究科 入学試験判定基準（1月期）

課程	研究科	入試区分	外国語		口頭試問
			英語（1）100点	英語（2）100点	
博士	医学	一般	120/200		C評価以上
		社会人			

課程	研究科	入試区分	外国語	口頭試問
博士	薬学	一般	40/100	各評価者による評価合計点 （5段階の7項目）の平均値で21点以上
		社会人	—	

課程	研究科	入試区分	小論文	口頭試問	合計
修士	実学社会起業 イノベーション 学位プログラム	一般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

※C評価は、課題発見および課題解決を行うために必要な資質・能力、ならびに主体的に社会に新たな価値を創造しようとする意欲について、一定の水準を満たしていると認められる場合を指す。

令和6年度 大学院研究科 入学試験判定基準（2月期）

課程	研究科	入試区分	A専門科目	B専門科目または外国語	合計	口頭試問
博士前期	法学	学内	60/100	-	60/100	C評価以上
		一般	110/200		110/200	
社会人		60/100	-	60/100		
博士後期		一般	110/200		110/200	
		社会人	口頭試問、出願時に提出した修士論文またはそれに準ずるものおよび「研究(経過)報告書」(1,500字程度・自由書式)、「研究計画書」等を総合的に判断して、可否を決定します。			

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	商学	一般	180/300		180/300	C評価以上
		社会人	75/100	-	75/100	
博士後期		一般	150/200		150/200	
社会人		75/100	-	75/100		

課程	研究科	入試区分	専門科目・外国語	論述試験	合計	口頭試問
博士前期	経済学	一般	210/300	-	210/300	C評価以上
		社会人	-	70/100	70/100	
博士後期		一般	280/400	-	280/400	

課程	研究科	入試区分	専攻	外国語	専攻の基礎科目	口頭試問
博士前期・修士	総合理工学	一般	理学専攻	110/200		C評価以上
			物質系工学専攻	120/200		
			メカニクス系工学専攻	150/200		
			エレクトロニクス系工学専攻	120/200		
			環境系工学専攻	110/200		
		東大阪モノづくり専攻	150/200 (※1)			
博士後期	一般	全専攻	-			
	社会人		-			

※1 第1次選考は小論文等の書類選考(100点)、第2次選考は実技試験(100点)

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	薬学 (薬科学専攻)	一般	配点100 ※外国語と専門科目の総計が50%以上	40/100	100/200 ※外国語と専門科目の総計が50%以上	各評価者による評価合計点 (5段階の5項目)の平均値で15点以上
		社会人	-	-	-	
博士後期		一般	-	40/100	40/100	各評価者による評価合計点 (5段階の7項目)の平均値で21点以上
		社会人	-	-	-	

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
修士	総合文化研究科	一般	160/200	60/100	220/300	C評価以上
		社会人	60/100	-	60/100	

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	農学	学内	-	60/100	60/100	C評価以上
		一般	60/100	60/100	120/200	
		社会人	-		-	
博士後期		一般	-		-	
		社会人	-		-	

課程	研究科	入試区分	英語(1) 100点	英語(2) 100点	口頭試問
博士	医学	一般	120/200		C評価以上
		社会人			

令和6年度 大学院研究科 入学試験判定基準（2月期）

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	生物理工学	一般	外国語試験の得点が50点以上であり、これに専門科目試験の得点を加えた値が100点以上			C評価以上
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定			
一般		外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して可否を決定（本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除）				
社会人		専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定				
博士後期						

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	システム工学	一般	100/200		100/200	C評価以上
		社会人	専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定			
一般		外国語試験の得点および口頭試問等の結果を総合して可否を決定（本研究科博士前期課程修了者は学力試験を免除）				
社会人		専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して可否を決定				
博士後期						

課程	研究科	入試区分	専門科目	外国語	合計	口頭試問
博士前期	産業理工学	一般	120/200		120/200	C評価以上
		社会人	-			
一般		-	60/100	60/100		
社会人		-				
博士後期						

課程	研究科	入試区分	小論文	口頭試問	合計
修士	実学社会起業 イノベーション 学位プログラム	一般	60/100 ただし、口頭試問はC評価以上		60/100

※C評価は、課題発見および課題解決を行うために必要な資質・能力、ならびに主体的に社会に新たな価値を創造しようとする意欲について、一定の水準を満たしていると認められる場合を指す。